

令和2年度児童養護施設睦の家事業報告書

- 1 所在地 兵庫県丹波市青垣町文室 204 番 2
- 2 利用定員 30 人
- 3 職員定数 29 人 配置数 30 人
- 4 事業開始年月日 平成 25 年 4 月 1 日
- 5 事業運営基本計画

(1) 理念の実現を目指すと共に環境を理解把握し、状況に適応した諸計画を策定、実行する。

(2) 施設のユニット化、高機能化を推進する。

(3) 理念

- ① 利用者の意向を尊重し、利用者が尊厳を保ちつつ、健やかに育成されるよう支援する。
- ② 良質、適切、総合的な福祉サービスを提供する。
- ③ 事業を適正に遂行するため経営基盤を強化し、サービスの質の向上と経営の透明性を確保する。
- ④ 地域の住民及び福祉関係者と相互に協力し、地域福祉を推進する。

6 処遇実績

(1) 年間在籍児童数（各月初日在籍児童数）

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1・2 歳児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
年少児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
小学生	10	9	9	9	9	9	12	12	12	12	12	13	128
中学生	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
高校生	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	83
その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	29	28	28	28	28	28	31	31	31	31	31	31	355

(2) 一時保護・ショートステイ延日数

区分／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護	30	31	44	79	94	83	31	57	94	65	81	85	774
ショート													0

(3) 入所・退所児童数

区分\月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
入所	幼児													5	
	小学生	1					3						1		4
	中学生														
	高校生												1		1
退所	幼児													4	
	小学生	1											1		2
	中学生														
	高校生											1	1		2
	その他														

(4) 日常生活

規則正しい生活への自主的な適応を目指し指導に努めました。

平 日		休 日		備 考
起 床	6:30	起 床	6:30～ 7:00	おおむね適応している
朝 食	6:10～ 7:30	朝 食	6:50～ 8:00	〃
登 校	6:30～ 8:20	学 習	9:00～	〃
お や つ	10:00～10:30	お や つ	10:00～10:30	〃
昼 食	12:00～14:00	昼 食	12:00～13:00	〃
下 校	14:00～19:00			一部の児童は時間外
お や つ	15:00～15:30	お や つ	15:00～15:30	一部の児童は時間外
学 習	15:30～	学 習	15:30～	おおむね適応している
入 浴	16:00～20:30	入 浴	16:00～20:30	一部の児童は時間外
夕 食	17:30～19:10	夕 食	17:30～19:10	一部の児童は時間外
就寝消灯	20:00～23:00	就寝消灯	20:00～23:00	おおむね適応している
自主学习	21:00～24:00	自主学习	21:00～24:00	おおむね適応している

(5) 児童集団行事等実績

- 8月 1日 BBQ、花火 児童 28名 職員9名
- 8月14日 ラテアート体験 児童10名 職員3名
- 10月20日 ピザ窯作り 児童18名 職員6名
- 3月14日 キャベツ種まき 児童13名 職員3
- 3月25日 いちご狩り、宝探し 児童31名 職員11名
- 3月31日 BBQ 児童29名 職員 12名

(6) 避難訓練実績

各月1回 年12回

(7) 支援計画の策定と実施

① 自立支援

自立支援計画策定についての見直し（必要な児童については3か月ごとにこども家庭センターと協議）への対応として、全児童についてアセスメントシートを作成しました。4人の高校3年生については、それぞれ希望する進路を実現することができました。（大学2名、短大1名、専門学校1名）

② 個別対応

被虐待児や集団に適応し難い児童等、個別対応が必要とされる児童5名について、生活場面・創作活動での1対1の対応や個別面接を行い、個別ニーズを理解把握し、愛着関係の再構築を図りました。

③ 心理療法

15人のこども家庭センターと事前協議を行った児童について心理療法を行いました。被虐待体験等による課題がある児童について、情緒の安定、達成感や自信の獲得、愛着関係の再構築等の支援を行いました。職員が9月に退職となり、継続した支援はできませんでした。

④ 家庭支援相談

保護者への相談等を行い、親子関係の再構築を図り、家庭復帰に向けた支援をした結果、年度内に家庭復帰となった児童は2名でした。新型コロナウイルス対策のため、面会、外出、一時帰宅についての制限があり、計画的な支援が困難となりました。

⑤ 里親支援相談

関係機関と連携しながら、里親支援専門相談員を中心に里親支援の取り組みを続けました。新型コロナウイルス対策のため季節里親、週末里親等の家庭生活体験活動が実施できず、里親家庭の在宅支援に注力しました。

⑥ 児童集団行事

新型コロナウイルスの影響で、多くの集団行事は実施することができませんでした。

7 支援結果の概要

- (1) 幼児は日常生活に概ね適応し明るく、元気よく、健やかに生活することができました。愛着面での課題が顕在化する児童がおり、個別対応等で工夫をしながら支援しました。
- (2) 新型コロナウイルス対策のため、登校日や学校行事が大幅に縮小しましたが、小学生の多くは、明るく、元気よく生活することができました。軽度発達障害や情緒面が不安定である児童については、学校、関係機関と連携しながら支援しました。
- (3) 新型コロナウイルス対策のため、登校日や学校行事が大幅に縮小しましたが、中学生全般に元気に生活することができました。中学3年生3名はしっかりと学習に取り組み、それぞれが希望する高校に進学することができました。
- (4) 高校生6名は、概ね安定した高校生活を送ることができました。高校卒業の4名については、大学進学2名、短大進学1名、専門学校進学1名と、それぞれの希望する学校に進学することができました。短大生1名は期間延長し、自立支援に努めました。
- (5) 特別な支援の必要な児童11人
知的障害5、情緒・軽度発達障害7
- (6) 通院児童33人、延298人
- (7) 予防接種 インフルエンザ28名 日本脳炎7名 二種混合2名 麻疹風疹2名
- (8) 健康診断 春31名 秋31名

【運営管理】

1 人事・労務

(1) 職種別職員数

職 種	施設長	指導員保育士等	心 理	事 務	栄 養 士	調 理 員	非 常 勤	嘱 託 医	計
年度始	1	16	1	1	2	2	7	1	31
年度末	1	16	0	1	2	2	7	1	30

(2) 職員採用

採用年月日	職 種	学 歴	福祉施設経歴等	備考
4月 1日	保育士	専門学校卒	新卒	

(3) 職員異動・変更

異動年月日	人数	異動状況
4月 1日	1	若草寮より児童指導員異動
4月 1日	1	若草寮へ保育士異動

(4) 退職

区 分	退職・休業等の月日・期間	職 種	学 歴	理 由
退 職	9月 9日	心理士	大学卒	自己都合
退 職	3月31日	児童指導員	大学卒	自己都合
退 職	3月31日	調理員補助	高校卒	契約満了
退 職	3月31日	宿直管理員	高校卒	自己都合

2 協定締結及び届出

36協定（令和2年3月26日締結3月27日届出）

3 会議

(1) 施設が開催した内部の主要会議

- ① 職員会議
- ② 職員ミーティング
- ③ 給食会議
- ④ 児童と職員の会議
- ⑤ 支援検討会議(自立支援計画策定会議を含む)
- ⑥ 実習生と職員との反省会議

(2) 関係機関等開催の外部会議

県養連協議員会議、児童福祉施設関係機関会議、職員幹事会議、小中PTA会議、高校評議員会、こども家庭センターとの会議、小学校・中学校・教育委員会との会議、県児養連理事会、要保護児童対策地域協議会議、丹波市社会福祉法人協議会、丹波市子ども子育て会議

- 4 職員健康診断 入社時検診 6月 2名
定期健診 9, 10月 16名
(12月 1月 2月 3月) 27名
インフルエンザ予防接種 22名
腸内細菌培養検査 17回 延べ76名

5 監査等

(1) 第三者評価

内部評価

(2) 行政指導監査

チェックリストによる監査

(3) 消防査察

消防査察 令和2年度はなし

(4) 自主点検

建物遊具点検（毎月）

6 研修

(1) 職員外部研修

中堅職員研修（リモート） ファミリーソーシャルワーカー研修（リモート） 里親研修会

(2) 職員内部研修

事業計画、子育て支援規準研修、自立支援計画実施研修、支援技術研修、
栄養・給食研修、施設内虐待防止研修

7 苦情解決

*令和2年度は意見箱や口答で苦情や要望があり、下記の通り対応致しました。

① ネットで子どもの写真があがっているので対応してほしい。（保護者より）

・施設からの発信ではなかったため、発信元の関係機関に削除依頼をした。

② Wi-Fiを23時以降も使えるようにしてほしい。

・就寝時間が23時であり、十分な睡眠時間の確保やゲーム、スマホ依存防止のために現状の利用時間とする。

③ 職員が会話の中で子どものことを悪く言っているのが聞こえ、嫌な気持ちになった。

・どのような内容かはわからないが、悪く伝わったことについて謝罪する。また、子どもたちの聞こえる状況の中で子どもたちについての話をするのはよくなく、今後十分に気をつけていくことを職員会で確認する。

④ 職員に用事を頼んでもしてもらえなかったのに、その職員はスマホをみていた。

・児童からの依頼については丁寧に対応、できない場合はなぜできないのかをしっかりと説明する必要があること、勤務時間だけでなく、休憩時間についても子どもたちから不信感を持たれないように、スマホ、パソコンの使用について留意することを職員会で確認。

⑤ 睦の家のスライドショーを作してほしい。

・来年度中に、法人としてのスライドショーを制作予定。

※②③④については児童との話し合いの中で説明。⑤については要望した児童に伝える。

【施設整備等】

1 建物・設備の整備 なし

2 器具及び備品、ソフト、車輛の購入

ノートパソコン 3台	409,200円		4月
デスクトップパソコン 2台	271,700円		4月
光触媒空気清浄機 8台	953,700円		5月

【寄付金・寄付物品受領】

10万円以上分 古林暢子様 800,000円 国際ソロプチミスト但馬様 100,000円

寄付件数 146件 1,434,736円（上記10万円以上分含む）

【地域との交流・連携】

1 実習生・ボランティアとの交流と連携

- ・実習生等の受入と指導及び実習関係大学との交流・連携

※実習受け入れ校

豊岡短大 湊川短大 聖和大 園田短大 大阪青山大 元町こども専 14名 140日

- ・ボランティアとの交流・連携

ロータリークラブ柏原 ピザ窯造り

2 学校・地域社会を通じての交流と連携

- ※新型コロナウイルス対策のため実施なし

3 関係機関・各種団体との連携

- ・県児童課等関係部局、こども家庭センター、関係市家児相、健康福祉事務所、教育・保健・医療機関
- ・市役所、警察署、消防署、職安、労基署、社会保険、その他の官公庁
- ・民生委員・主任児童委員、・県児童養護連絡協議会・近畿児童養護施設協議会
- ・全国児童養護施設協議会・子どもの権利擁護委員会・第三者委員 ・社会福祉協議会
- ・共同募金会・但馬里親会・北摂丹波里親会・要保護児童対策協議会（丹波市、篠山市）

4 地域の子育て相談事業・支援事業

- ・一時保護
- ・ショートステイ事業
- ・子育て支援事業

※ショートステイ事業については、一時保護児童の受け入れを優先したため実施できませんでした。また、子育て支援事業についても、新型コロナウイルス対策のため実施できませんでした。